The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

宝塚ワイズメンズクラブ　2013年2月会報　第293号

主　題　・　標　語

国際会長(I P)　　Philip Mathai　(インド)

主題：　"Be the light of the world"　「世を照らす光となろう」

標語：　"Share your blessings in love"　「恵みを愛もて分かち合おう」

アジア地域会長(AP)　Oliver wu　(台湾)

主題：　"Years bring wisdom"　「歳月はY's をワイズ(賢者)にする」

標語：　"Action vitalize life with strength"　「行動が活力を呼び覚ます」

西日本区理事(RD)　成瀬　晃三　(名古屋)

主題：「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」

"Let Y'smes Light Shine before Others
In the club, in the community, in the world"

標語：「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」

"Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"

六甲部長　　上野　恭男(芦屋)

主題：「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」

宝塚クラブ会長　長尾　亘

主題：「原点に帰って、楽しい例会」

"Back to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ：
「さて、この三人のなかで、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカ10:36～37

2013年2月第1例会

日　時：2013年2月13日(水)18:30
場　所：宝塚ホテル　ゴールドの間
会　費：会員2,500円、会員外2,000円

ドライバー	山崎　泰男
	若林　成幸
開会点鐘	長尾　亘会長
ワイズソング	全　員
聖　書	小嶋　星子
祈　祷	青柳美知子
ゲスト・ビジター紹介	長尾　亘会長
ゲストスピーカー	
西日本区EMC事業主任	米村謙一氏
会　食	
誕生日のお祝い	
会長報告	長尾　亘会長
YMCA報告	谷川　尚連絡主事
閉会点鐘	長尾　亘会長

2012/13 役員	会　長 長尾　亘　　直前会長　山崎泰男 副会長 多胡葉子　　書　記　若林成幸 会　計 吉田　明　　会計監査　今田　稔 メネット連絡　福田素子　連絡主事　谷川 尚、 六甲部地域奉仕環境事業主査　山崎泰男 西日本区交流事業主任　石田由美子
事　業 委員長	YMCAサービス・ユース　多胡　葉子 地域奉仕・環境　山崎泰男、ＥＭＣ　福田宏子 交　流　石田由美子　ファンド　堀江裕一 広　報(ブリテン) 長尾　亘、(HP)　長尾　亘
特別事業 委員長	NGO　三品ミチ子　じゃがいも　福田　肇 バザー　山崎泰男　市民クリスマス　若林成幸
お誕生日 おめでとう！	吉田早苗(2月1日)　福田肇(2月11日) 坂田昌鴻(2月14日)　山崎泰男(2月22日)
1月実績	在籍会員数　25名 例会出席者数　26名 うち会員数　20名 出　席　率　80.0% メイクアップ(内数)　0名 メネット　3名 コメット・マゴメット0名、ゲスト・ビジター3名
	BFポイント　1月　5,521円 累　計　32,481円 にこにこBOX　12月　5,000円 累　計　20,000円 物品販売累計　11,300円

2013 年 1 月第 1 例会

日時　1 月 9 日(水)18 時 30 分から 21 時まで。
場所　宝塚ホテルゴールドの間
参加者 26 人(ゲスト 3 人)
ドライバー　司会　今田稔、記録　武田寿子

長尾会長の開会点鐘によって会が始まり、全員でワイズソングを歌い、杉谷会員が聖書を朗読、長尾会長の祈祷により例会がはじまった。ゲスト、ビジターの紹介後、六甲部 EMC 事業主査鵜丹谷ワイズの立会で入会式が行われた。新入会員坂田昌鴻さん 1945 年生まれ、海外生活 40 年の経験があり現在もタイでのお仕事が多く頼もしい仲間の入会を全員で歓迎した。

会食の後、恒例の全員 2 分間のスピーチがありそれぞれの一年の抱負を話していただいた。アトラクションは山崎ご夫妻絶妙コンビが、手品を披露してくださり、会場は笑いにあふれた。誕生日のお祝いがあり、6 人がプレゼントをいただいた。

会長が YY フォーラムの参加者を確認、石田会員が中西部例会の件、多胡会員が三田ワイズのバレンタインコンサートのアピールがあり、谷川主事から YMCA 報告があった。

長尾会長の閉会点鐘を持って和やかに終了した。

＜宝塚ワイズメンズクラブへの入会に際して＞

新入会　　坂田昌鴻

40 年に近い年月を海外で過ごして、昨年ベースを日本にシフトしました。

日本に帰れば、何か地域社会に出来ることがあればと思っておりました。バンコクの教会でご一緒だった芦屋ワイズメンクラブの羽太英樹さんからご紹介をいただき、約半年でやっとメンバーになれました。とてもうれしく思います。ジャケットを着替える度に、ワイズメンバッジを付け替えるうれしさ、誇らしくもあり、またそれに恥じないようにしなければとそのような気持です。

1 月 9 日の入会日には長尾会長から、タイワイズメンのウィチアン氏を紹介され、1 月 18 日にバンコクで昼食をともにしながら、和やかに歓談できました。タイのワイズメンは人数が十数名で大変少ないとのことです。お金は出すが、ボランティア活動には余り参加しないのが特徴だそうです。華僑の多いバンコクの人達の人生観がそこに現れていると思いました。彼らはお金にならない仕事には興味がないからです。一方仕事には熱心で、その熱心さがアジア諸国において、圧倒的な財力と権力と地位を築き、現在のアジア諸国の経済発展に貢献しているということだと思います。

日本に帰って来て思う事は沢山あります。日本国内の情報の大きな流れの中に埋没するまえに、日本を俯瞰する余裕がある間に、気付いたところをメモしておきたいと思っています。今回の機会をいただいたので、幾つか書かきたいと思います。まず第一は、日本は圧倒的に豊かな国であることです。その豊かさは日本の美しい自然と社会的インフラです。我が国の山紫水明は世界に誇るべき、世界の宝物です。こんな美しい国は世界にもありません。また日本の社会資本の充実とその運用の高い正確さです。例えば新幹線の安全性を確保した上での超スピードなど、枚挙にいとまがないほどです。二番目は社会全体のマナーと約束を守る国である事です。日本では宅急便や現金書留が当たり前にな

っていますが、世界のどの国もこれは実現できません。なぜならば、他の国では日本ほどの社会への忠誠心とか責任感のレベルの高い国はないからです。そのことを私は大変誇りに思います。その他にも知的好奇心の高さ、清潔さなど世界に誇る物が沢山あります。物質的な豊かさに反して、精神的支柱の欠如、生活はあっても人生があるのだろうか？哲学思想があるのだろうか？新聞 TV などのメディアを批判的な視点で見ているだろうか？

日本や世界の現状や未来に責任ある行動を取っているだろうか？などなど多くの大切な問題において日本人は立ち止まって自分に問う時ではないだろうか？

これからの日本を思うとき、私はラインホールドニーバー牧師の祈りを思い出すのです。

「主よ、変えられないものを、静かに受け入れる心と、変えられるものを、変える勇気を、そして、その両者を見分ける叡智を与えたまえ」

1 月第 2 例会報告

1 月第 2 例会は、1 月 16 日(水)18 時 30 分からハッピーハウスで行われた。長尾会長が眼科治療で欠席のため多胡副会長の進行で、石田、谷川、堀江、吉田、山﨑、若林各メン、今田和子メネットの 8 名が出席した。

1. YY ﾌｫｰﾗﾑ報告(別記)を了承した。
2. 2 月例会の進め方を協議した。ゲストに米村謙一氏を迎え「自己診断プログラム」を体験する。自己診断シートはブリテン付録として予め配布し、各人で自己採点したものを当日持参してもらう。当日は Time of First（断食の日）に当たり、例年の通り軽食を準備、会費はメン 2500 円、ゲスト 2000 円とし、会員＠1000 円を TOF 献金に。
3. 吉田メンから 7~12 月の中間会計報告（別記）があり、概ね順調に推移している旨、報告された。また、下期に支出予定の各種献金・支援金について協議・承認した。
4. ブリテン 2 月号の寄稿分担・編集・配布日程等を確認した。発送 1 月 30 日。
5. 東北大震災支援「希望の凧」について、昨年の実施団体や六甲部の動きを見ながら相応の協力をすることとし、詳細は多胡メンからの提案を待つ。

《通常会計》中間報告 2012.7~12 月

科目	予算	実績
〔収入の部〕		（単位：円）
前期繰越金	15,753	15,753
年会費	1,050,000	420,000
入会金	19,500	0
例会参加費	996,000	663,500
雑収入	10,000	45
ファンド会計繰入	295,047	145,362
合　　計	2,386,300	1,244,660
〔支出の部〕		
分担金・会費	556,300	315,600
例会費	1,290,000	776,563
通信費	110,000	44,320
事務費	80,000	16,768
旅費交通費	100,000	0
交際費	50,000	26,659
雑支出	80,000	64,750
25 周年記念事業費	120,000	0
合　　計	2,386,300	1,244,660

《ファンド会計》中間報告 2012.7~12 月

科目	予算	実績
《収入の部》		（単位：円）
前年度繰越	792,967	792,967
ﾊﾞｻﾞｰ収益金	300,000	0
ｼﾞｬｶﾞｲﾓ収益金	200,000	269,260
物品販売	80,000	5,300
諸献金	200,000	364,197
前払金精算	49,700	49,700
合　　計	1,622,667	1,481,424

《支出の部》		
YMCA ﾘｰﾀﾞｰ援助金	150,000	27,000
対外援助金	100,000	10,000
YMCA 国際協力募金	100,000	69,363
ﾁｬﾘﾃｨｰﾗﾝ支援金	50,000	50,000
音楽活動費	100,000	149,637
諸献金・拠出金	150,000	144,200
次期活動前払金	50,000	0
通常会計へ繰入	310,800	145,362
積立金	30,000	0
次期繰越金	581,867	885,862
合　　計	1,622,667	1,481,424

（前月号に掲載予定の原稿）

坂田昌鴻氏のプロフィール

1945 年 2 月 14 日、兵庫県相生市生まれ。67 年同志社大学商学部卒。大学時代は主に ESS/AIESEC 活動に没頭し、卒業後、関西の繊維商社に就職。69 年から米国駐在を皮切りに、香港、シンガポールと転任。73 年結婚、香港で新婚生活をスタート。76 年長女誕生。81 年香港・日本人教会で君島洋三郎牧師から妻とともに受洗。90 年にシンガポールで辞職、独立し、会社を創業。

2000 年にタイへ移住。IT 教育ソフト、国際人材会社を創業、現在に至る。

11 年、妻とともに宝塚に戻り、宝塚在住、12 年初め、最愛の伴侶が急性肺炎の為、カイロからの帰途、バンコクの病院で死去。

（若林）

地域奉仕委員会報告
CS 献金のお願い

1 月 25 日神戸 YMCA にて西日本区笠井事業主任、六甲部上野部長・役員、各クラブより代表者､計 12 名のご出席頂き開催いたしました。地域奉仕事業については各クラブの現状・問題点・新たな試みをご報告頂き、クラブ活動の参考になればと考えます。

続いて、東日本大震災の支援と各種献金について協力のお願いをいたしました。東日本支援は区としての支援を行っているので 1200 円／一人、総額で 200 万円の支援を今期 6 月まで継続して支援を行う。

CS・ＴＯＦ・FF・ＲＢＭ献金について目標額をお願いしますが、特に前期はＲＢＭ献金が少なく六甲部では神戸ポートのみでした。今期は各クラブが協力して達成できるよう笠井主任からも特別の依頼があり、RBM の現状と PR を含めたビデオ放映を鑑賞し意識を高めました。

CS 事業資金援助について､今期六甲部ではさんだクラブが 2 月 2 日に開催するバレインタインコンサートに資金を援助すること承認を頂きました。皆さんも 2 月 2 日は三田に足を運んでください。

六甲部ボーリング大会のご案内

3 月 2 日（土）12：00～15：00　六甲ボウルにて開催。4 人一組ですが、一人参加でも OK。会費：3000 円昼弁当付きです。多数のご参加を！

CS 献金の今期目標は 1500 円／一人です。

お年玉つき年賀はがき当選切手を換金し、不足分をプラスして献金お願いします。2 月例会で集金させていただきます。

CS 献金は地域奉仕活動を支援する資金に使われます。

地域奉仕・環境事業主査　山崎泰男

YY フォーラム

『個性』の伝道師たちがやってくると題して開催された今年の新春 YY フォーラム。　このテーマはどんな意味があるの！まず個性の伝道師って？といぶかりながら YY フォーラムに参加。

伝道師？　―　他人に何事かを熱心に勧める人―　　誰に何を勧めるの？
YY フォーラムの主催は神戸 YMCA・ワイズメンズクラブ六甲部。企画は神戸 YMCA ユース委員会。そして委員長は六甲部 Y サ主査の森恭子氏。ユースリーダー、Y's メンバー、維持会員、神戸 Y スタッフ、幼稚園教員など 110 人のメンバーが一同に会した。

今年のこのテーマはワイズや維持会員、職員の年長者の持つ個性とヤングが持つ個性、それぞれの違う価値観を共有しようという。
第一部はチャペルで日本キリスト教団神戸聖愛教会牧師、小栗献氏の礼拝メッセージから始まった。

第二部が 10 人前後のグループに分かれてのディスカッション。「遊び」「仕事」「国際」「社会」「教育」と５つの分野に分かれた。1 時間 45 分のグループディスカッションはワイズのメンバーの個性が若いリーダー達の刺激になった？リーダー達から若さのエネルギーをもらえた？

私のグループは「教育」。特に先日教育現場で問題になった部活で顧問からの体罰の為に自殺をした高校生のことや、不登校児が増えているなどの問題などそれぞれの体験から次々に話しが弾みあっという間の時間切れ。　結論の一つとしては YMCA の一人一人を大切にする教育、キャンプ、グループ活動などの大切さを改めてそれぞれが実感したディスカッションとなった。

第三部はそれぞれのグループからの感想が語られ震災支援リーダー会、８ワイズ、YMCA のクラブなどの活動がそれぞれの代表によって PR され、最後はいつものリーダー会のメンバーの指導により全員でキャンプソングを歌い散会となった。

宝塚ワイズからの参加は武田、小島、石田、多胡の４人と少なかったのが残念でした。

この YY フォーラムこそ年代、職業などを越えて YMCA に集うメンバーが膝と膝を突き合わせる交流の場である。一人一人に寄り添える共同体としての YMCA 活動をサポートするワイズのメンバーは個性の伝道師として大切な役割を果して行ける存在でありたいと思ったフォーラムであった。

散会後石田、多胡はサイコ亭で開催された神戸、ポート、学園都市３ワイズの新年例会に出席。鵜谷メン調達の美味なるふぐ鍋で舌鼓。ここでもワイズの魅力の楽しい交流のひと時を過した。

(多胡葉子)

【今月のみ言葉】

辻　建　牧師

主イエスが語られた有名な「よきサマリヤ人の譬え」の結びの言葉です。追いはぎに襲われて、血を流してうめいている人の側を祭司とレビ人とが通りかかりますが、関わりをさけて通り過ぎます。日頃、宗教的理由で交わりを避け合っていたサマリヤ地方の住民が通りかかり、気の毒に思って介抱し、自分のロバに乗せて宿屋まで運び、翌日介抱のための費用を残して自分の仕事へと旅立ちます。聖なる仕事に差し障りがあると判断して、知って知らぬふりをして側を素通りした祭司とレビ人、慣習をこえて傷ついた路上の人を憐れんだサマリヤ人。「いずれが隣人となったか」の答えは明白です。細田あや子さんが、ヨーロッパ中の聖書の古い写本や会堂のステンドグラスに描かれた「よきサマリヤ人」の絵を集めて回り、図像からどのようにこの譬えが解釈されてきたかを論文にしました(三元社)。そこでは、祭司やレビ人、サマリヤ人がだれか、という解釈の変遷があります。時代の状況がさまざまに現れるとは言え、そこに「わたし」を映し出して見ることが肝要であり、決定的であると思われます。見ておりながら、見ないふりをして通り過ぎる「わたし」を、近寄る「わたし」へと変える勇気は、やはりイエスとの出会いから流れ込んでくるものです。

誕生月 輪番シリーズ

心に残る身近な出来事

福田　肇

先日久しぶりに高校時代の友人数名と会う機会があり、2 次会でカラオケに行った際、当時ラガーメンだったA君が流暢なフランス語でシャンソンを唄ったではないですか。学生時代の猛者とのギャップに一同驚いた次第です。

元々、それ程語学に堪能ではないと思われた彼に尋ねると、大学時代に第二外国語でフランス語を選択していたが、一線を退いて何かやろうと思い立ち、独学(ラジオ、テレビ)でマスターしたとのこと。歌詞は覚えれば良いのですが、会話はどうかと尋ねたところ日常会話ならそこそこ出来るとゆうことです。60 の手習い、いや 70 の手習いでも可能なことを立証してくれました。小生もドイツ語を再開しようかな。

山崎泰男

昨年のテニスダブルスのパートナーは肝臓がんと闘っています。昭和 20 年生まれで私と同じ年です。

現役時代は技術屋から営業職に転籍になり、仕事柄よく酒を飲んだそうです。定年間近に肝硬変と診断され肝臓がんへと進行して行きましたが、治療を続けながらテニスをバリバリやり、昨年は一緒に全日本の試合にあっちこっち遠征しました。昨年夏ごろから進行が止まっていた細胞が活発化し、血管にカテーテルを通し抗がん剤を投与しています。それでも週に 3 日位はテニスコートに通い、頑張っています。彼は「テニスをやる気が、がんの抗体を作るんだ、良くなれば試合に出るよ！」と言っています。学説にも笑いや気力ががん細胞を抑制すると書いていたのを思い出します。

「気力」の大事さをしみじみと感ずる出来事です。

交流事業便り

元中西部の三品ワイズ（元大阪クラブ）と小島ワイズ（元豊中クラブ）と石田交流事業主任の 3 人で 5 月２５日の「宝塚クラブ２５周年記念例会」のアピールをしてもらいました。

会長　長尾　亘（元大阪土佐堀クラブ）

[2012 年度次期役員研修会]

2013 年 1 月 13 日(日)～14 日(月･祝)の 2 日間、が、ホテルクライトン新大阪で開催されました。これは、次期(2013・7～2014・6)の事業主任、各部長へのリーダーシップ向上研修とそれぞれの活動方針の発表が主な目的ですが、現役員も当然連携する事項もありますので出席しました。

去年のこの研修は「私に出来るだろうか」と言う不安が大きく、緊張の連続であったことを思うと、時間の経過の速さを実感し、同時に過去半年の活動中の楽しさが不安を消してくれたこと等、今回はかなりリラックス出来ました。次期は高瀬稔彦理事(岩国みなみ)を中心に全体的に若い、元気な役員達との印象を受けました。理事方針は、「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう」です。ワイズメンにとって最も大切な例会は大きな学びの場、自己研鑽を楽しく出来る場、そして「親睦」こそが楽しい例会つくりの原点、と言うアピールです。事業主任、7 名の内、女性は 4 名です。宝塚ク

ラブとしては親しみを感じます。研修内容は次期役員の方針発表以外に、国際の中の西日本区、キリスト教理解、文章の作成、YMCA 理解、等盛りだくさんでした。

緊張の連続から解放されて何よりも楽しいのは、7 時からの夕食です。毎回、アイデア溢れたクイズがあります。今回は、20 問あるアルファベットのワイズ用語を日本語で何と言うか、例えば IBC は国際兄弟クラブ、と言うように英語ではお馴染みの用語でもきちんとした日本語訳にする難しさを実感するクイズでした。次期交流事業主任の上村眞智子メン(熊本ジェーンズ)と私は 18 問正解でクッキーをゲット。ユニーク賞は岡野泰和主任。何と彼の「IBC は」、「いっぺん、ぼくに、チュー」、でした！前回の役員会後の夕食時は、世界の国旗あてクイズでした。毎回、学びのある遊びはワイズならではの楽しみ方です。この日は 2 人のハッピーバースデーがあり、ケーキにキャンドルを灯して賑やかにお祝いしました。

このように、研修会も役員会も交流の大きな機会で、「めちゃくちゃ楽しい半年デス」と言っている私の感想もご理解頂けるでしょう。折り返し点を過ぎて、どんな成果が出て来るかな、と期待したいと思っています。

(交流事業主任　石田由美子)

YMCA だより

1）YMCA 会員入会・継続のお願い

YMCA は、活動参加を中心とした基本会員、そしてみなさんワイズメンズクラブの方々のように YMCA サービスや YMCA の主旨に賛同、参画をしていただいた方々による維持会員といった会員制度を長らく行い、神戸 YMCA の会員は、災害復興支援や地域社会奉仕、地域が抱える諸課題に対する啓発活動などを会費によって支えていただいてまいりました。更には、そうして会員となった方々の多くがプログラム参加をきっかけに、ボランティアとして奉仕活動に参加したり、セミナーやディスカッションに加わるなど、神戸 YMCA の使命に基づく諸活動である「会員活動」への関わりを深め、活動の担い手となってくださっています。一方で、神戸 YMCA は 2011 年 4 月に公益財団法人として認定を受けるに当たり、諸活動参加について会員以外にも門戸を開きつつ会員制度と公益性について検討するなか会員活動とプログラム参加は表裏一体のものとして捉える方向性には変わりはありませんが、この度 2013 年 4 月より、全てのプログラム参加に会員登録を求めないことといたしました。

しかし、実際には神戸 YMCA は会費と会員によるボランティア奉仕活動によって、災害復興支援、国際協力、地域貢献、子育て支援、指導者養成などの公益事業を行っています。会費は海外プログラムや地域支援、ボランティア活動、また昨今では経済的事由による YMCA プログラムへの参加が困難な状況にある家庭への助成等に用いられています。新入会の方々への十分な説明が足らずであったり、制度変更などワイズメンズクラブの皆様には不明になっていることもあるかもしれませんが、

これまで同様 YMCA のサービスクラブとして、YMCA の「すべてのいのちが光り輝くように」という主旨にご理解、ご協力を賜り、YMCA 維持会員への加入、継続を改めましてお願いいたします。

2）今後の予定

- 特別講演会「いのちの輝き」
  1 月 17 日は阪神・淡路大震災から 18 年目を迎え、また 3 月 11 日は東日本大震災 3 年目を迎えます。この両大震災の間の 2 月に「いのち」を考える特別講演会を開催します。長年、ホスピス医療の第一人者として活躍されてきた柏木哲夫先生をお招きして、ホスピスでのご経験や東日本大震災、また自殺やいじめなどの「いのち」の軽視を総括的に捉え、「いのちの輝き」の意味に迫っていただく会を計画しています。午餐会の拡大版として企画いたしました。是非、ご参加ください。日時：2 月 16 日(土)正午～午後 2:30
  場所：神戸 YMCA　4F　サイコー亭
  講師：柏木哲夫氏(淀川キリスト教病院名誉ホスピス長、金城学院大学学長)
  テーマ：「いのちの輝き」
- ユースリーダーと会員の集い「Y カフェ」
  会員活動委員会が主催して、ユースリーダー、ユースリーダーOBOG、また会員運動を支え、活動をしている会員の皆さんとお茶でも飲みながら、気楽な雰囲気の中で語り合える場を用意してくださいました。是非、ご参加ください。
  日時：2 月 23 日(土)午後 2:00～4:00
  場所：神戸 YMCA　4F　サイコー亭
  内容：講演「私と YMCA 活動(安行英文さん)」とカフェタイム

谷川 尚(連絡主事)

年会費納入のお願い

2012/13 年度後期会費納入をお願いします。

金額　20,000 円(休会会費は 10,000 円)

（前期分未納の方は合せてお願いします）

(銀行振込みの場合)

銀行名　三菱東京 UFJ 銀行・宝塚中山支店
普通預金　口座預金　４５８５８３６
口座名　　宝塚ワイズメンズクラブ会計

年賀はがき・年賀切手　当せん番号
各組共通、４等（下２けた）

２９、　　７０、